

ビジネス小説にみる日本企業にとっての「異文化の壁」

—海外建設プロジェクトにおける「仕事の慣習」、「政治文化」そして「戦争の記憶」—

正誤表

訂正箇所	誤	正
2 ページ 21 行目	日本の <u>再</u> 大手製鉄会社	日本の <u>最</u> 大手製鉄会社
7 ページ 4 行目	生涯で二度と <u>欠</u> けない	生涯で二度と <u>書</u> けない
8 ページ 15 行目～16 行目	阪神大震災 (1995) や東日本 <u>大地震 (2012)</u>	阪神 <u>淡路</u> 大震災 (1995) や東 日本 <u>大震災 (2011)</u>
9 ページ 20 行目	今回の工事で被った <u>黒</u> 字	今回の工事で被った <u>赤</u> 字
11 ページ 1 行目	<u>機</u> が遠くなる	<u>気</u> が遠くなる
同 6 行目	程度の <u>者</u>	程度の <u>もの</u>
14 ページ 13 行目	顔合わせである <u>思</u> う <u>卯</u> が	顔合わせである <u>思</u> う <u>が</u>
22 ページ 8 行目	<u>「疑似体験的」</u> できる。	<u>「疑似体験」</u> できる。